

2) 調査手順

①アンケートの組み方

- ・アンケートお願い用紙 ……資料 1
- ・患者用質問紙 (QIOPt) ……資料 2
- ・家族用質問紙 (QIOFa) ……資料 3
- ・返送先が記入されている返送用封筒

上記を順に重ね、左肩をホッチキスで留める。

②配布対象

調査病棟に入院しており、退院が決まった患者とその家族。

ただし小学生以下と判断や記入が困難な患者は除外する。

患者の家族がいない場合も配布する。

③配布手順

退院予定日の1週間前から退院当日までに、該当患者に師長から直接手渡し、協力を依頼する。

④回収方法

手元に渡ってから1週間以内に、郵便にて患者用質問紙・家族用質問紙を同封し封印の上、病院宛に返送してもらう。または、外来等にボックスを設置し、退院後、その当日に回収する方法も可能である。

⑤配布期間

調査依頼の申し出があった時点で、アンケートご協力のお願いと質問紙を100セット施設に発送する。評価担当者(院内 QI 班)は、で調査病棟を決定し、できるだけ早く病棟師長にアンケートの配布を依頼するし、配布を開始する。配布期間は、送付した100部のアンケートがなくなるまで、または配布開始から3ヶ月を目安とする。3ヶ月を経過しアンケート用紙が残った場合には、アンケート用紙の配布を中止し、配布した数を確認する。

3) データ集計上の手順

調査に使用するデータは、患者用質問紙、および家族用質問紙のそれぞれ全ての項目に回答しているデータを用いる。

4) 評価方法

前述の①から⑧の8つの側面について、調査対象病棟の得点をこれまでの調査結果を蓄積して算出した値と比較して評価する。結果の比較は、レーザーチャートと表で示し、評価は平均値、標準偏差、最頻値、最大値、最小値を用いて行う。なお、それぞれの用語の説明は以下のとおりである。なお、いずれの値も調査のたびに新しいデータを加えて更新していく。

2. “転倒・転落・褥創の発生率”

1) 目的

患者への看護ケアの結果（アウトカム）として、転倒・転落の発生率は、患者の安全が守られているかを評価し、褥創の発生率は、患者に異常が起きないことを評価する。転倒・転落・褥創の発生率は、以下の計算式を用い、患者 1,000 人に対するそれぞれの発生割合を求めている。基準とした平均の転倒・転落・褥創の発生率は、全国の 524 病棟から得られた平成 9 年 9 月から 12 月に集められた 4 か月間のデータに基づいている。

$$\frac{\text{1 か月間の発生件数}}{\text{1 か月間の入院患者のべ総数}} \times 1,000$$

2) 対象

調査対象は、各病棟単位である。

3) 方法

①配布するもの

- ・アウトカム評価使用マニュアル
- ・転倒・転落・褥創発生件数チェック表 ……資料 4
- ・返送用封筒

②調査対象

病棟毎

③配布手順

評価担当者より、「転倒・転落・褥創発生件数チェック表」を対象病棟に配布し、記入方法を説明する。

④回収方法

各月毎に、評価担当者（院内 QI 班）が回収する。

⑤配布期間

調査の申し出があった時点で、使用マニュアルと転倒・転落・褥創発生件数チェック表を 3 か月分施設に発送する。調査対象施設は、調査対象病棟を決定し、チェック表を受け取った時点から 3 ヶ月間、毎日以下の記入方法に準じて記載する。

⑥用語の定義と記入方法

<当日の在院患者総数の算出方法>

前日の最終在院患者総数+当日の入院患者総数（退院患者数はマイナスしない）

例：9月6日の最終患者数48名の場合

勤務帯	9月7日の入院数	9月7日の退院数
深夜	0	0
日勤	2	2
準夜	1	0
	3	2

→ $48 + 3 = 51$ ⇒9月7日の欄には、51と記入する。

ただし、9月7日の最終患者総数は $48 + 3 - 2 = 49$ となる。

<転倒・転落・褥創の記入方法>

《転倒・転落について》

転倒:段差のないところで、転ぶこと。転ぶ速度は問わない。

転落:段差のあるところから、落ちること。落ちる速度は問わない。

カウント方法:事故の大小に関わらず、また看護職の介助や家族の付き添いの有無に関わらず、病棟内で起きた転倒・転落の全例をいう。そして、看護師が把握した全てのケースをカウントする。

前日までの発生件数を積算するのではなく、その日に発生した件数を記入する。

《褥創について》

定義:表皮剥離の状態、褥創形成とする。

カウント方法:入院中に病棟内で形成された褥創をカウントする。例えば入院前よりある褥創や手術中に発生した褥創はカウントしないが、同一患者が入院中に新たに褥創を生じた場合はカウントする。

また、同一患者の場合、褥創が3カ所あれば、「3」とカウントする。前日までの発生件数を積算するのではなく、その日に発生した件数を記入する。

4) データ集計上の手順（発生率の算出方法）

得られたデータを、以下の計算式を用いそれぞれの発生率を求める。

$$\frac{\text{1か月間の延べ発生件数}}{\text{1か月間の入院患者延べ総数}} \times 1,000$$

5) 評価方法

全国524病棟を対象に行った調査における、褥創、転落、転棟の発生率の平均値（SD）、最頻値を標準として、評価対象施設の平均値（SD）、最頻値、最低値、最高値を比較する。標準値を求めたデータには常に新しいデータを加えて、データベース、標準値を更新していく。

アンケートご協力をお願い

看護の質を向上させていくために、入院中の看護に対して、患者さんやご家族の方がどのように受けとめていらっしゃるのかを知り、改善点を明らかにしたいと考えています。療養中のところ恐縮ですが、添付のアンケートにお答え下さい。ご家族の方へのアンケートにお答えいただくのは、ご家族のどなたでも結構です。どうぞ、率直なご意見をお聞かせ下さい。

ご記入いただきましたアンケート用紙は、ご本人用とご家族用を合わせて、添付の封筒に入れて 1週間以内にご返送ください。

ご回答いただきました皆様方のご意見は直接私どもが受け取りますので、病棟の方々がご覧になることはございません。また、匿名で記入していただきますので、アンケート用紙をどなたが書かれたのかは、一切わからないようになっていきます。さらに、回収しました結果は改善点を明らかにする分析以外には用いないこととお約束します。誠に勝手なお願いで恐縮ですが、何とぞご協力をお願いいたします。このアンケートに関して、ご質問、ご意見などがございましたら、いつでも下記の連絡先にお問い合わせ下さい。

施設名

担当責任者 氏名

連絡先 〒

住所

TEL

FAX

返送方法として、施設内にポストを用意し、退院後に投函してもらうことも可能

入院中の看護に関するアンケート

あなたの年齢は（ 歳） 性別は（ 男性 ・ 女性 ）
 あなたの入院期間は（約 日）

入院中にあなたが受けた看護について
 下記の設問ごとに
 「大いに思う～まったくそう思わない」のうち、
 該当する番号に○をつけて下さい。

大	や	あそ	まそ
いそ	やそ	まう	っう
にう	う	り思	た思
思	思	わ	くわ
う	う	な	くない
		い	い

- | | | | | |
|---------------------------------------|---|---|---|---|
| 1. 看護婦がいることで、安心して検査や治療が受けられた | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | |
| 2. 安心して、看護婦の世話が受けられた | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | |
| 3. 自分で身体が拭けない時に、看護婦に気持ちよく身体を拭いてもらっていた | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | |
| 4. 痛みがあった時には、気兼ねなく看護婦に言えた | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | |
| 5. 看護婦の対応によって、痛みは落ち着いた | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | |
| 6. 痛みがあった時の看護婦の対応に満足できた | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | |
| 7. 看護婦は、私の身体の状態をよく知ってくれていると思う | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | |
| 8. 看護婦から大切にされていたと思う | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | |
| 9. 納得して、治療・看護が受けられた | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | |
| 10. 何人もの看護婦に同じことをいちいち伝えなければならなかった | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | |
| 11. 医師と看護婦のそれぞれに同じことを伝えなければならなかった | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | |
| 12. ご家族への看護婦の対応に満足できた | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | |

*ご回答に際し、内容や表現でわかりにくい点などございましたら、下の欄にお書き下さい。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

入院中の看護に関するアンケート（ご家族の方へ）

あなたの年齢は（ 歳） 性別は（ 男性・女性 ）

患者さんとの続柄は（ ）

入院中のご家族（患者さん）に対する看護やあなた自身に対する看護婦の関わりについて、下記の設問ごとに「大いにそう思う～まったくそう思わない」のうち、該当する番号に○をつけて下さい。

大	や	あそ	まそ
いそ	やそ	まう	っう
にう	う	り思	た思
思	思	わ	くわ
う	う	な	な
		い	い

1. 面会の際、気兼ねなく入院中のご家族（患者さん）と一緒にいられた

4	3	2	1
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

2. 看護婦が入院中のご家族（患者さん）に行っている世話に満足であった

4	3	2	1
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

3. 入院中のご家族（患者さん）の役に立ちたいと思ってしたことを看護婦は認めてくれていた

4	3	2	1
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

4. あなた自身、患者さんの家族として看護婦から大切にされていたと思う

4	3	2	1
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

*ご回答に際し、内容や表現でわかりにくい点などございましたら、下の欄にお書き下さい。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

〈転倒・転落・褥創発生件数チェック表〉

施設・病棟名

平成○年 ○月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	合計	
転倒 (件)																																	
転落 (件)																																	
褥創 (個)																																	
当日の 在院患者 総数																																	

『転倒』・『転落』について

*転倒とは、段差のないところで、転ぶこと。転ぶ速度は問わない。

*転落とは、段差のあるところから、落ちること。落ちる速度は問わない。

定義：事故の大小にかかわらず、また看護職の介助や家族の付き添いの有無にかかわらず、病棟内で起きた転倒・転落の全例をいう。

検査等でやむ終えず病棟を離れる場合も含む。

カウント方法：看護婦が把握した全てのケースをカウントする。

『褥創』について

定義：表皮剥離の状態で、褥創形成とする。

カウント方法：入院中にできた褥創をカウントする。例えば、入院前よりある褥創はカウントしないが、同一患者が入院中に新たに褥創を生じた

場合はカウントする。また同一患者の場合、3カ所褥創があれば、「3」とカウントする。

『当日の入院患者のべ総数』について

算出方法：前日の最終在院患者数+当日の入院患者数（退院患者はマイナスしない）